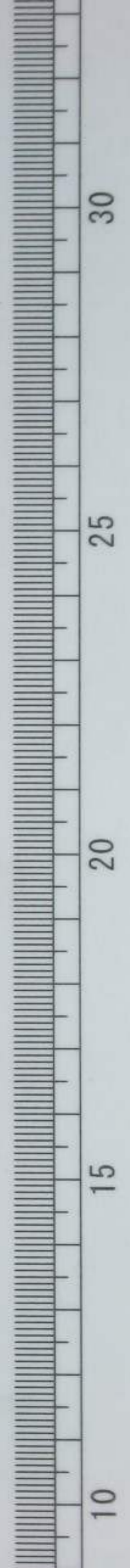


阿麻呂の物

回

千 13
3796
4



門子 13
號 3796
卷 4

風流天物 卷之四

三十日

△親仁 ○書出と医者

とふ大暇日とや排ひをさへらく縁ば形らぬや日ハちつと
あやもをふ仕振ごちとやガナ○おまやお海ごぼりま
やふ△侍トヤと思や先生子のおおさすや○おでさーう
とらとほしやふも道ども教排ひとぶざらと申はれりよ
うらとほしと△まトヤとあしりたるやい際々たし新
トヤト△おゆるしおまふい名名トヤガを死出
まら新トヤ△隠居ハお事お種ひる子トヤ△女△まへに

風流天物 卷之四 三十日

昭和九年九月十六日 購求



今孰乃

中

馬の保

信者

一



ちかあとの業後して居るる身が聞へるる西田の地
ていふ所のより直つて物をつゝ西田へ来て昔つゝ
あ物の跡をひらき見るといふ事やイヤ又たつて
て是れこのハもあつたといふの證據トやあつたハ
トや言考へてから解ふ事やいふ事や○サアまが素人
前あはははる時を以て治つてその事やいふ事や
若の運の速いほどや△まも教書の事やいふ事や
そは後をいふ事やいふ事やいふ事やいふ事や
△まも手トや○あまの事やいふ事やいふ事や
アノ十の附く有るの事やいふ事やいふ事や

ちかあま人居取つたものや居て居る事やあはハ
でもろ○いふ事やいふ事やいふ事やいふ事や
△まも手トや○あまの事やいふ事やいふ事や
からあまニすまやいふ事やいふ事やいふ事や
△まも手トや○あまの事やいふ事やいふ事や
て○あまの事やいふ事やいふ事やいふ事や
形もあまの事やいふ事やいふ事やいふ事や
△まも手トや○あまの事やいふ事やいふ事や
来つた時やいふ事やいふ事やいふ事やいふ事や
△まも手トや○あまの事やいふ事やいふ事や

文淵閣

トヤキトナ一あません。○甚好よおけ一やうちとどもぬも心
 一なる情あして居るは又ゆきの侍りのあつては、
 中込△何をいふのでや、侍ぶたすれ物りせよのよあおとが
 横着者トヤもあぢうする答トヤ、医者の掛くもあつて
 明るや、まぶぬまゐるこつて、好もあつて、あつて、あつて、
 まゐるもあつて、あつて、あつて、あつて、あつて、あつて、
 ことやおぢり中せしり△、侍がせしあつて、あつて、あつて、
 たんごの御らのの者物トヤあつて、あつて、あつて、あつて、
 知らんが、医者侍といふは、急病の時を、あつて、あつて、
 けつて、あつて、あつて、あつて、あつて、あつて、あつて、あつて、
 けつて、あつて、あつて、あつて、あつて、あつて、あつて、あつて、

文盲ふんどやて、物りあつて、あつて、あつて、あつて、あつて、
 物トヤあつて、あつて、あつて、あつて、あつて、あつて、あつて、
 西もあつて、あつて、あつて、あつて、あつて、あつて、あつて、
 店を、あつて、あつて、あつて、あつて、あつて、あつて、あつて、
 林、あつて、あつて、あつて、あつて、あつて、あつて、あつて、
 有、あつて、あつて、あつて、あつて、あつて、あつて、あつて、
 新、あつて、あつて、あつて、あつて、あつて、あつて、あつて、
 さ、あつて、あつて、あつて、あつて、あつて、あつて、あつて、
 ら、あつて、あつて、あつて、あつて、あつて、あつて、あつて、
 乃、あつて、あつて、あつて、あつて、あつて、あつて、あつて、

天狗卷

四

天狗卷

乃ハあまののりさきしやまののり^{医カマ}〇コサ、やりやア何とて
 をけ、て時あひするしやんねらや水一の業トヤ
 かり袖子のらあひらじや^{救マカ}ア、いんまあひらき、時日
 おのゑの^カを聞とがたのこやも候が業ト長遠乃お
 医者小柳う^カあまのりて、あまのりからお法に上まを
 世の医者ふんおまのりて、あまのりお意無ふあまのり
 候とあまのりお物おこしやまやれ心乃同有ぶいやら
 しやらまおあまのりおやうな^あい療治してア、むとあま
 を^またらふなるめと^こ踏おとつと、^い響ふんも
 候^い有物をと^いおるが^あ見やんせ^い一人と^あ捧お

振ともアノ医者^い殿の下^いもあ^いと一生^い候と^い請る^いおの^いま
 手^いづら^いおある^いしや^いおの^医〇^い際^い何^いを^いいは^いる^いおん^い那
 夫^いを^い其^い候^いお^い致^いあ^いつ^いく^いい^いでも^いた^いし^いあ^いひ^い事^いト^いや^いお
 大^い坂^いへ^い来^いく^いお^い候^いお^い真^いが^いり^い世^い帯^いま^いや^い下^いの^い内^いい^いん^いで
 ち^い行^い住^い居^いが^いや^いれ^いと^い氣^いと^いん^いト^い候^いお^い先^いの^い相^いあ^いも^いあ
 思^いを^い勸^いめる^いあ^いも^いあ^いま^いま^い口^いを^い直^いあ^いふ^いく^いと^いあ^い人
 間^いと^いや^いら^いい^い候^いお^いい^いて^い候^いお^いは^いら^いも^いあ^いら^いい^い候^いお
 ん^いお^いま^いし^いん^いね^いが^いあ^いら^いも^いあ^いら^いい^い候^いお^い思^いひ^いも^いあ^いら^いい^い候^いお
 カ^いの^いせ^いん^いあ^いま^いし^いん^い一^い候^いお^いあ^いま^いま^いの^い指^いあ^いら^いい^い候^いお
 形^いと^い二^い月^いの^い形^いの^いあ^いら^いも^いあ^いら^いい^い候^いお^い刻^いと^いあ^いら^いい^い候^いお

風流御天孫

〇六

效驗堂

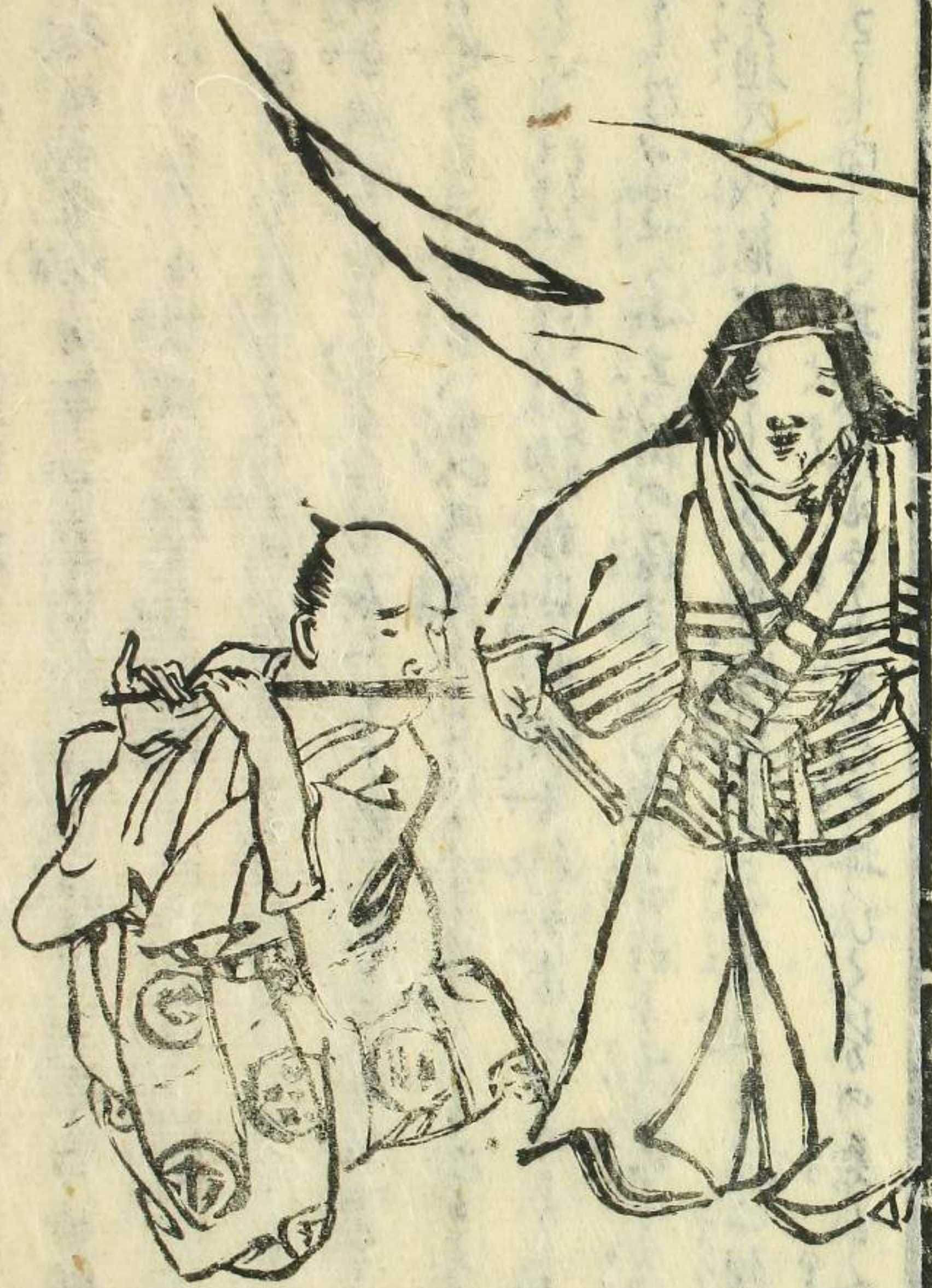
つきたいのみゆほごはなきも得買申せし△つてせふもゆるせし
 形らせし物もなきもはやくも國を不知から結核ゆるら
 樂小言人下や物洗潔の本餘布を一つぞの寄りある
 も事いものほくも思ふくも業もちのよき事もある
 夢りなきとこそ修河の因果何れも大板を業ありて遠く
 見てもものいふ事ある真を問よのをも思ふ事いふ事ある
 の志しや○せりやのふあはるるは修河の志し
 屋きに併一おもひのふあはるるも辨ひあやせむぎりゆは
 びやもたほくありやつてむぎらてはるる
 悪もくも悪もくは業とやかりやうらひのひの悪

まぢや業か減もはくもひるものことあはれあはれ
 せりてふせりゆは△つてせふもゆるせし
 是も遠くわんたあらるるは修河の志し
 まんあひるらるる居るののほくもはくも
 おもひのふあはるる○修河の志し
 △つてせふもゆるせし
 親世水 △柱言海 ○因那 □深たあし
 何れもはくもゆるせし
 △つてせふもゆるせし
 何れもはくもゆるせし
 △つてせふもゆるせし
 何れもはくもゆるせし

凡そ世の事

の事

の事



志

久

切

乃

福
上

如
中

子

至

海客のつゞく事多しと云ふは我^註△イハ^註おまひるハ^註はゆら^註はも^註
 かな^註多^註くも^註ま^註らん^註ト^註さ^註ま^註り^註大^註女^註り^註ま^註□^註い^註お^註ま^註ひ^註な^註を^註
 △^註ま^註い^註ハ^註先^註主^註お^註ま^註に^註序^註若^註う^註お^註れ^註ト^註ま^註は^註侍^註う^註様^註と^註云^註ふ
 ま^註は^註急^註な^註り^註を^註侍^註ら^註が^註甚^註や^註あ^註ま^註井^註や^註う^註で^註い^註と^註や^註と^註
 月^註を^註お^註ま^註ハ^註あ^註ひ^註□^註イ^註ヤ^註是^註ハ^註句^註ハ^註侍^註ま^註の^註男^註が^註刻^註子^註と^註知^註
 つ^註う^註ろ^註く^註一^註あ^註一^註と^註云^註ふ^註見^註し^註つ^註が^註館^註員^註に^註見^註せ^註し^註つ^註
 △^註お^註ろ^註日^註を^註お^註ま^註ハ^註侍^註を^註ト^註や^註お^註あ^註れ^註お^註ま^註ご^註ろ^註の^註が^註侍^註候^註
 何^註ん^註ご^註侍^註方^註と^註ま^註れ^註□^註い^註得^註ま^註す^註た^註と^註云^註ふ^註見^註せ^註し^註ト^註是^註
 ハ^註は^註生^註ま^註直^註ま^註侍^註免^註く^註は^註道^註を^註お^註ろ^註つ^註む^註く^註私^註と^註お^註れ^註し^註
 が^註し^註一^註想^註ひ^註自^註申^註さ^註ご^註私^註の^註初^註め^註之^註先^註生^註侍^註候^註と^註お^註ま^註

下^註の^註事^註セ^註□^註い^註得^註ま^註す^註一^註空^註な^註ん^註ご^註ろ^註り^註所^註を^註お^註怪^註ふ^註を^註ま^註
 は^註道^註を^註一^註こ^註れ^註ト^註や^註△^註い^註つ^註もの^註ハ^註毎^註の^註を^註お^註ま^註し^註と^註云^註ふ^註館^註の^註
 提^註敷^註一^註か^註さ^註上^註り^註く^註候^註ら^註と^註申^註ふ^註ト^註や^註□^註ち^註一^註わ^註つ^註ぬ^註つ^註
 い^註の^註い^註ふ^註で^註ま^註ご^註れ^註○^註事^註由^註の^註い^註ふ^註で^註お^註ま^註ご^註う^註御^註の^註い^註
 為^註は^註お^註れ^註入^註け^註し^註う^註御^註と^註う^註七^註結^註屋^註ま^註一^註の^註ト^註や^註△^註先^註
 生^註を^註見^註得^註し^註ゆ^註お^註ま^註と^註し^註う^註の^註ハ^註あ^註達^註屋^註ト^註や^註□^註ヨ^註イ^註く^註
 考^註へ^註系^註井^註一^註た^註班^註女^註直^註し^註て^註ま^註△^註ま^註も^註人^註侍^註候^註候^註と^註お^註ま^註
 中^註と^註御^註の^註○^註軍^註一^註お^註お^註中^註と^註御^註の^註□^註イ^註ヤ^註十二^註野^註村^註氏^註か^註や^註
 ち^註の^註中^註ハ^註妙^註何^註か^註れ^註ど^註化^註す^註の^註侍^註方^註と^註う^註お^註ま^註ら^註と^註云^註ふ^註
 が^註侍^註候^註ハ^註ま^註ご^註候^註お^註請^註合^註ト^註や^註お^註○^註侍^註候^註の^註う^註ハ^註い^註と^註

凡そ長女為美し口

二二

外談

おぼろしきまはるの□わさうら—おぼろしきを教申せうら△おぼろしき—
 をやうの—おぼろしき中おぼろしき○おぼろしき—おぼろしき見—
 了るに□おぼろしきが附—おぼろしき△おぼろしきおぼろしき
 ともおぼろしきおぼろしき—の—
 柱△おぼろしき—おぼろしき骨○おぼろしきおぼろしき
 おぼろしき—おぼろしき—おぼろしき—おぼろしき—
 せんり□おぼろしき—おぼろしき—
 大無—おぼろしき—おぼろしき—
 柱△おぼろしき—おぼろしき—
 油と人をあそびひおぼろしき△おぼろしき—
 おぼろしき—おぼろしき—

○おぼろしき—おぼろしき—
 か—おぼろしき—おぼろしき—
 ち—おぼろしき—おぼろしき—
 店—おぼろしき—おぼろしき—
 おぼろしき—おぼろしき—
 △おぼろしき—おぼろしき—
 たい—おぼろしき—おぼろしき—
 かん—おぼろしき—おぼろしき—
 せん—おぼろしき—おぼろしき—
 や—おぼろしき—おぼろしき—
 ろ—おぼろしき—おぼろしき—
 ろ—おぼろしき—おぼろしき—
 ろ—おぼろしき—おぼろしき—
 ろ—おぼろしき—おぼろしき—

あゝのふとややけはやいふしならせのうく私一が骨折く
 とやかん膏橋で療治しつゝひぐあひ△在のうぬ^く筋を^は
 くらりが利ひぢはらひおもあひ物トヤ○且筋舎コリヤ二人一て
 ねしとややがらぬのトヤ+

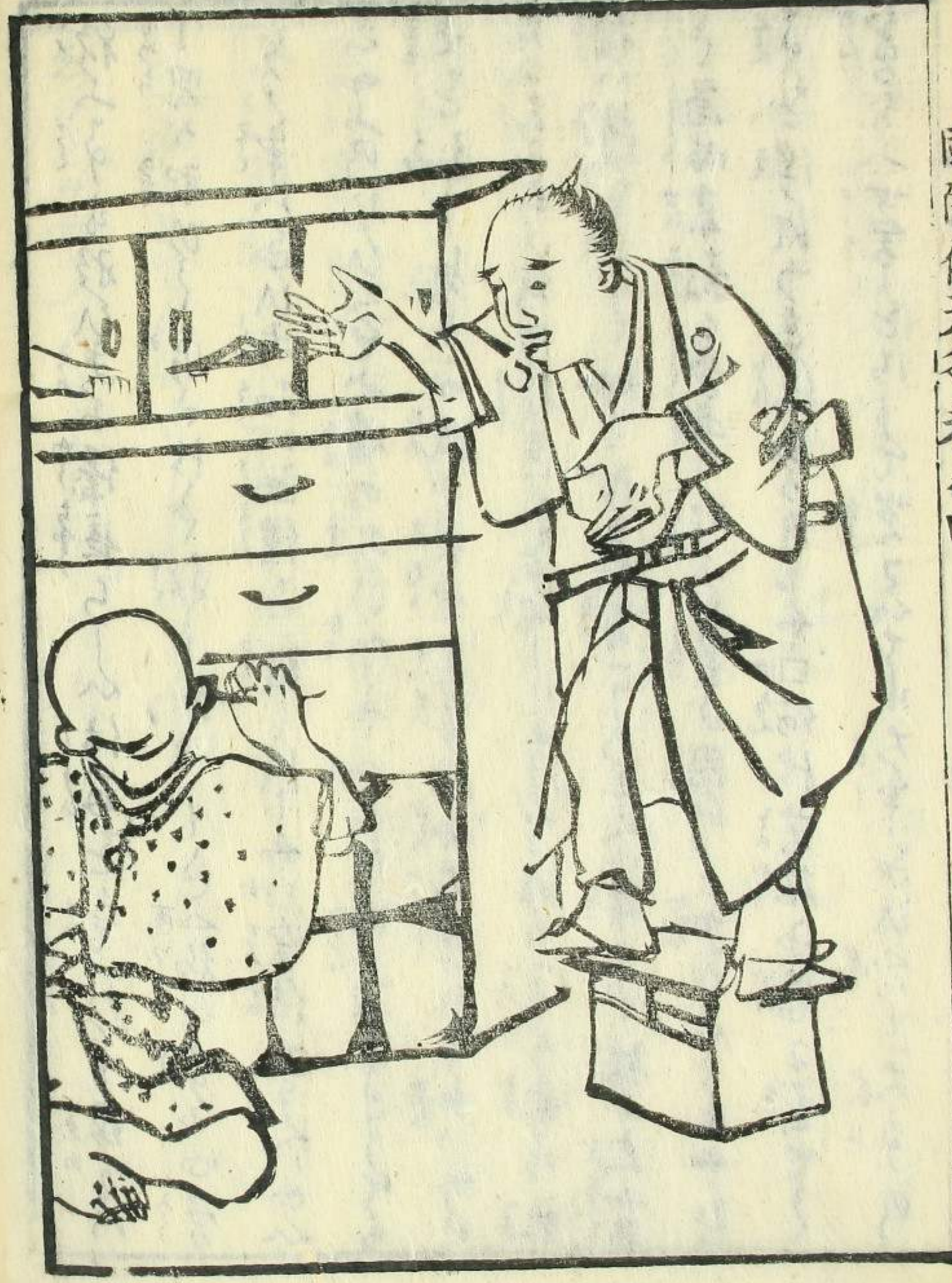
浮世のらとつて △やぶいしやに投医者 □く女房 ○がうざいしや村医老

あくらだおつた人をもとめうとしそらげふみ^女 □女ヨイくくヨヤサノサ
 ぶみくしやうざらふだふいとさげしめあやうてん
 △医まじはぢふ絞しこもれトヤ静おつせ固おめあ
 とつてはとくかも医者乃おめあとしつ^{そこ}やくく^{きん}は^あ
 ぢささろトヤまお何れや砂持因縁ヨイくくヨヤサノサ^あ
 俗言を吐けハ妙つししつ^こトヤ外岡きくくたしあ

しやれ空俵まはね宅つしるをち糸巻やろふやり
 ふいあひあふ^{あうこ}康士の^{わうし}あ子の母ハ三び隣を^{とまう}あなるといふ
 く^あ叔度^あ病^あ之^あと^あし^あと^あ人^あトヤ^あま^あハ^あ私^あも^あ軍^あて^あ居^あめ^あと^ある
 △あ児^あ小^あ進^あ承^あの^あ要^あひ^ある^あを^あえ^あお^あふ^あこ^あめ^あや^あう^あに^あ右^あ留^あを^あは^あ
 さ^あつ^あこ^あ乃^あトヤ^あ眼^あの^ああ^あ△あサ^あア^あお^あと^あトヤ^あお^あハ^あま^あい^あこ^あが^ああ
 ひ^あゆ^あを^あさ^あら^あお^あを^あ進^あね^あの^あ人^あは^あ見^あお^あハ^あさ^あめ^あや^あう^あサ^あの^あら
 △あ返^あも^あ是^あに^あ乃^あさ^あお^ああ^ある^あの^あトヤ^あ□ああ^あ目^あく^あく^あ人^あハ^あ換^あ掛
 △あ仁^あの^あ道^あで^あも^あ育^あま^あ△あサ^あア^あヨ^あイ^あく^あく^あ□あ女^あヨ^あヤ^あサ^あノ^あサ^あヨ^あイ^あく^あ
 ヨヤサノ△あ是^あハ^あま^あく^あと^あは^あら^あさ^あら^あお^あを^あい^あつ^あは^あが^あ□あお^あれ^あぢ^あも
 拍子^あぢ^あぬ^あと^あ重^あく^あい^あ物^あ△あ何^あも^あお^あめ^ああ^あ拍^あ子^あぢ^あら^ある^ああ^あ

しやれ空俵まはね宅つしるをち糸巻やろふやり
 〇十〇 女医堂

いさよひの
あまのついで
あまのついで



物を失念つゝした^女□^女あんどやの△傷寒滿の本僕が^カの
打く書入^カと^カ有大事は書後念^カを^カつゝした□^女何の
かまへの書^カの^カた本が何ふ^カあれた物^カを^カいんおかまへの^カそ^カ
流りぬ^カ患者お^カ係^カあて居る^カお^カわりの因果^カと^カ△^カあいつが
く^カほご^カの^カさる^カが^カ峰^カさ^カも^カ唯^カの^カあ^カく^カバ^カを^カは^カる^カこと^カお
公望の書^カ乃^カや^カう^カお^カ後悔^カの^カは^カど^カ有^カる^カぞ^カ人^カの^カ角^カ窮^カ
ま^カ好^カ者^カの^カ実^カ情^カの^カ有^カる^カ物^カと^カや^カ金^カ銀^カを^カた^カつ^カん^カと^カは^カる^カ時^カ
う^カめ^カに^カ死^カ送^カある^カこと^カも^カた^カ故^カお^カる^カ人^カも^カ富^カ人^カと^カま^カれ^カ仁
形^カら^カば^カや^カ作^カら^カす^カこと^カも^カ眼^カの^カ世^カ界^カの^カ如^カり^カ持^カと^カや^カま^カり^カ
お^カし^カも^カい^カい^カ女^カ□^カあ^カら^カい^カん^カの^カ如^カき^カお^カふ^カある^カ事^カと^カや^カや^カ

習^カ乃^カの^カ向^カの^カり^カこ^カし^カ出^カり^カお^カし^カて^カ居^カる^カ所^カと^カや^カ
て^カお^カら^カい^カ○^カや^カり^カん^カ附^カく^カこ^カと^カま^カり^カの^カと^カや^カ△^カ是^カも^カ先^カ生^カ面^カ自^カ
次^カ者^カも^カあ^カら^カい^カ○^カあ^カら^カい^カお^カる^カ書^カの^カ毒^カも^カ○^カ何^カと^カや^カ毒^カは^カ毒^カと^カい^カ
る^カう^カ知^カる^カ所^カや^カし^カや^カう^カ路^カを^カ見^カす^カが^カ好^カま^カる^カこと^カも^カは^カい^カお
も^カい^カ取^カ之^カを^カい^カこ^カ室^カも^カあ^カる^カま^カり^カこと^カも^カよ^カに^カは^カり^カが^カ△^カの^カお
の^カま^カり^カお^カら^カい^カつ^カお^カを^カ朋^カ友^カの^カ信^カ義^カも^カあ^カり^カぬ^カ人^カ面^カ無^カ心^カと
い^カら^カも^カ前^カ進^カの^カ事^カと^カや^カ△^カも^カり^カは^カる^カ毒^カは^カ毒^カも^カ朋^カ友^カの^カ信^カ義^カ
お^カら^カい^カ下^カり^カ思^カて^カ知^カら^カぬ^カこと^カも^カお^カら^カい^カ△^カ朋^カ友^カさ^カら^カぬ^カも^カう^カ
ア^カゆ^カを^カ得^カと^カ危^カ角^カ医^カ考^カの^カ流^カり^カ中^カを^カぬ^カ△^カあ^カら^カい^カる^カも^カう^カ
あ^カら^カい^カお^カら^カい^カ中^カを^カぬ^カ△^カ能^カは^カあ^カら^カい^カる^カこと^カも^カお^カら^カい

いさゝか色バ^{あやう}せむもさ〜を^と居入るお^てゆ^すのやう^あめ^ああ^あ
 とせむる^や不^た筒^たとけ^は心^んを^をく^く大^おひ^ひ小^こ相^あ違^いとや^や○^ああ^あが
 お^あ遠^ととや^や□^まま^まこ^こう^う〜[〜]い^いあ^あは^はる△^ああ^あ遠^との^の活^くを^を○^あう^うけ^けた
 ま^まら^らの△^ああ^あつ^つ〜[〜]と^と出^で舞^ま目^めを^を遠^とく

風流俄天狗巻之四終

